



一人ひとりの夢・思いを大切に

No.159

2024/4/1 発行

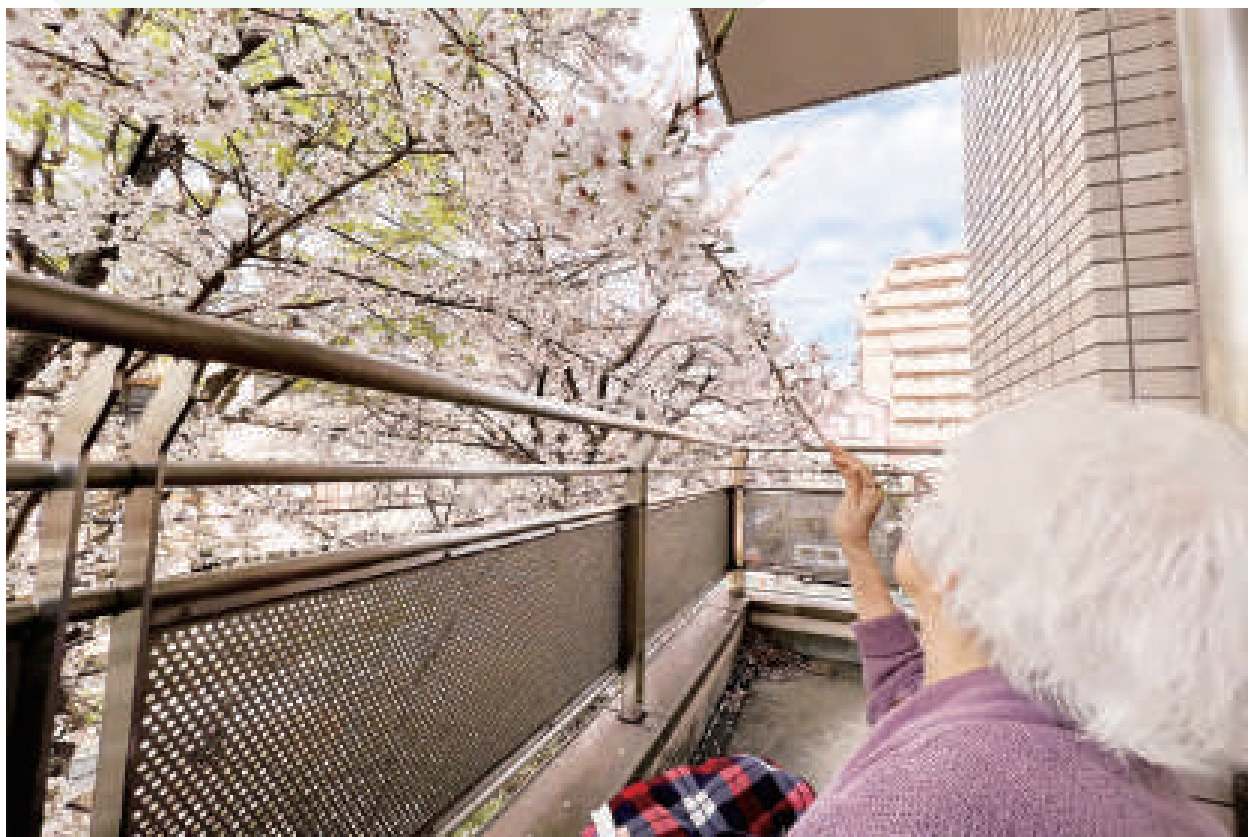
しなふく ニュース

品川総合
福祉センター
公式サイト



区民の理解深まる

ヤングケアラー啓発講座 開催



中延特別養護老人ホーム花見特等席！桜が間近でご覧になれます

2P ヤングケアラーのためにできること
3P 令和6年度基本方針・運営方針
4P サービス向上に向けた取り組み
5P 研修開催のお知らせ | 私たちの風景

6P 地域とのつながり
7P 豆知識 | らうんじ
8P しなふくの窓 | お知らせ | 施設一覧

「ヤングケアラーのためにできること」

令和5年度の福祉啓発講座は昨年度に引き続き、「ヤングケアラーのためにできること」を取り上げました。品川区、品川区社会福祉協議会に後援をいただき、令和6年2月17日（土）、大井町きゅりあんで開催されました。NPO法人ICT救助隊の協力をいただき、会場参加とWEB参加の同時開催により、当日は合わせて86名の参加となりました。

今回の講師は昨年に続きフリーアナウンサーの町^{まち}亞^あ聖^{せい}さんと、埼玉県で生活困窮世帯の学習支援を13年活動していっしやる、彩の国子ども・若者支援ネットワーク理事の土^{つち}屋^や匠^{しょう}宇^う三^{さん}さん。

町さんは、元ヤングケアラーとしての介護経験を紹介。困りごとを言語化することの難しさ、弱音や本音が吐き出せる場所や人の必要性、受援力を高めることの重要性などを話してくださいました。子どもたちが、夢をあきらめないよう、必要なタイミングで必要な支援を行うことの大切さを説明されました。



土屋さんは、この13年間、1000人のスタッフで、1900名もの子どもたちの学習支援をされ、年間12000回の家庭訪問を行ってこられました。子どもの言葉を丁寧に聞いてこられた自身のご経験から、信頼できる大人が近くにいること、子どもの願いを中心に支援を考えることの重要性を話されました。困った時に誰かを頼ることができる、誰かを支える意識が芽生えることに繋がること、受援力の大切さをお二人が語られました。講演の最後には、子ども家庭支援センターから品川区の取組みの紹介をいただきました。

ヤングケアラーのために何からしていいかわからない、という声に応えてくださるかのように、まずは子どもの身近な、「信頼される大人」になることというヒントをいただいた機会になりました。実践者お二人のお話は大変分かりやすく心を打つ内容で、「勉強になった。」「感動した。」「言葉だけ知っていたが、知ることができて心持が大分よくなった。」などアンケートでも多くの声をいただきました。

令和6年度

基本方針・運営方針

1. 基本方針

今年度は、第二次未来創造図（中長期計画）でかかげた課題を解決し、利用者、家族、地域、職員からの信頼を得られる法人となることを目標にし、様々な活動の場で利用者本位のサービスを提供していきます。

2. 重要課題

具体的には第二期中期経営計画で取り上げている「人権擁護」、「人材確保」、「収支改善」の3テーマを引き続き継続し具体策を講じていきます。

- ① 人権擁護では利用者支援や職員モラルに関する問題点を洗い出し、職員一人ひとりが自覚し、専門職としての人権意識・倫理観を醸成し虐待ゼロを目指します。
- ② 人権擁護、コンプライアンス維持は組織のガバナンスを高めるため必須であり、法人内でのチェック機能を強化することで推進していきます。
- ③ 人材確保では働き方改革を推進し職場環境改善、ワークライフバランスを考慮した働きやすい職場を作っていきます。また職員育成を重視し新任職員、中堅職員、リーダー候補者の育成に努めます。人材確保対策として職員採用方法を改善し具体的な対策を立て職員欠員ゼロを目指します。
- ④ 収支改善では収入源である稼働率の確保を施設単位で具体的な方策を検討し実行します。支出面では徹底したコスト削減に取り組み法人全体で共通する課題について対策を講じていくことで赤字ゼロとしていきます。
- ⑤ 人材不足が深刻化している社会状況の中、ICT技術の導入で業務改善をはかりサービスの質を確保していく必要があります。先行導入した八潮南複合施設の検証を継続し、その結果を共有することで他の施設でもICT導入を進め、全体を活性化していきます。
- ⑥ 震災など予期せぬ事態に対応するべく「BCP」事業継続計画を各施設単位及び法人全体で策定し、事業所間の連携を考慮し内容を精査・改定し運用していきます。

- ⑦ 新型コロナ対応や感染症全般の最新情報を収集し、適切な感染防止対策の下、利用者の生活の質を確保し、職員が安心して業務ができるようにしていきます。感染対策委員会の開催、指針の整備、研修及び訓練の実施を進めます。
- ⑧ 八潮南複合施設の増改築について区に協力し計画案の検討、作成にとりくみます。
- ⑨ 福祉工場プチレーブの店舗移転（令和6年11月が期限）を計画的に進めます。
- ⑩ 中延複合施設の大規模改修について区と協議し準備を進めます。
- ⑪ 法人が40年積み上げてきた取り組みの歴史を鑑み、施設の強みや地域福祉向上のための取り組みを職員間で共有し、それを地域に発信し、品福ブランドの向上につなげられるよう、組織全体を活性化していきます。



園芸サークル、今日は何をやるんだろ
う！わくわく！（かもめ園身体）



わー！大きな品川かぶ！（かえで荘園
芸サークル）

アセスメント力の向上に向けて

品川区旗の台障害児者相談支援センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方が対象です。

一人ひとりが持っている障害も様々で、取り巻く環境や、人生観なども異なります。適切なアセスメントを行う事は、日ごろからの課題であったため、『様々な角度から課題を捉える事ができるアセスメント力を身につける』を目標に一年間取り組みを行いました。

具体的な取り組みとしては、7つの事例を通して、個人作業や全体での話し合いの時間を設け、

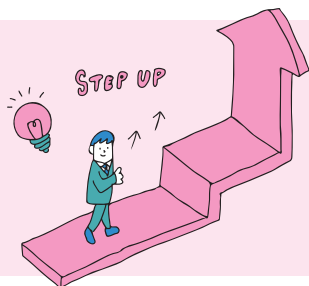
①生活課題（ニーズ）に気づくための視点②情報の集め方、アセスメントや相談支援に必要な視点とプラン立案の考え方について意見を出し合いました。

この取り組みを通して各自の得手不得手や、視点の偏り、他の相談員の考え方や視点など、お互いを知る事もできました。

相談支援に必要なスキルとして、今後の相談に活かしていくことができると感じています。



日々切磋琢磨して向上を目指しています！



サービス向上に対する取り組み

デイサービスの過ごし方は自分で決める

品川区立中延在宅サービスセンターは、ご自宅で過ごしている高齢の方が通い、活動を行う場です。

利用者の人数増加で、フロアの使い方や、過ごし方について見直しが必要となりました。職員は日々試行錯誤し、利用者の気持ちになって課題に取り組んでいます。

椅子が多くても安全に歩行が出来るよう、レイアウトを変更しました。また、足を上げて休めるよう、リクライニングソファを設置し、ゆったりと過ごせるようにしました。主にお風呂上りの休憩に使っていたロビーには、小上がりを用意し、静かに過ごしたい方や、帰りの時間が心配になってしまう方、帰るタイミングが掴めない方にとっても有効な場所となっています。「必要な方に必要なサービスを」をモットーに、利用者それぞれが、自分の好きな過ごし方が出来るデイサービスを実現できるよう【チーム中延】の職員は努力を続けていきます。



ロビーのアットホームな小上がりスペース、大好評です

知的障害者（児）移動支援従業者養成研修

「移動支援」とは、屋外での移動が困難な障害者または障害児に対して、余暇活動等の社会参加のための外出や通学等を支援し、地域における自立生活や社会参加を促すための障害福祉サービスです。移動支援のヘルパーとして働くためには、都道府県が指定した3日間の研修を受講し、事業所に登録することが一つの方法です。当法人では、令和2年度より、年1回「知的障害者移動支援従業者養成研修」を開講し、合計46名の方に修了証明書をお渡ししています。毎回、初日は緊張で重い空気が漂っていますが、講師の現場での体験談などを聞くにつれ、徐々に和やかな雰囲気になっていきます。最終日の演習では、3～4名のグループに分かれ、事例を基に外出支援の現場を想定しながら、積極的に意見交換し、外出計画を立てていく様子が見られます。

ロールプレイでは、利用者役のリアルな行動に驚き、支援の難しさを感じる方も多いようです。



障害系各事業所職員が集まり、研修内容検討会議を何度も行いました

受講の動機は様々ですが、「障害者について理解したい」「何か役にたてれば…」という気持ちを持って受講していただく方々に、福祉の現場の楽しさを感じていただくことが、福祉人材育成の第一歩だと思っています。

vol.
08

私たちの風景

／ 日常のひとこまをご紹介します ／

障害福祉サービス生活介護通所事業所

サンかもめ

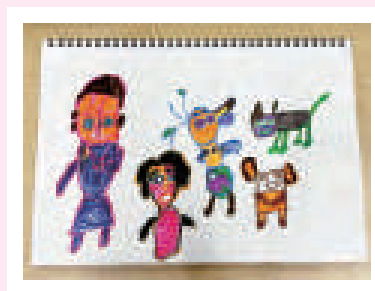
カラフルな日常の風景



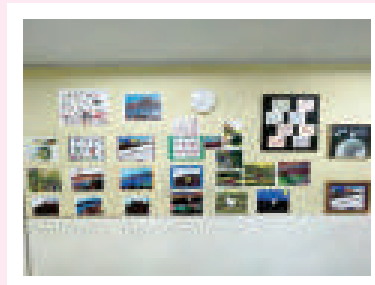
サンかもめでの日常を紹介します。

朝、利用者が来所され、日中活動が始まるまで、自由に時間を過ごしていただきます。朝のお茶を飲んでゆっくり過ごされる方、編み物をされる方、絵を描かれる方など様々です。絵を描かれる方は、見本を観て描いたり、自分で考えて描く方もいます。描いている様子や描かれた絵を観て思う事は、それぞれにオリジナリティーがあり、色使いや形など利用者が見て感じている事などを共有出来とても感性が豊かであると感ぜられる日々です。

その中、考えさせられる事は、職員として利用者やご家族に対して、利用者の描く絵のように感性豊かに、思いを感じられて共有出来ているのかと云うことです。全部の思いを感じ取り共有することは難しいですが、そのような気持ちを大切に仲間と過ごして行きたいと感じました。



アナと雪の女王

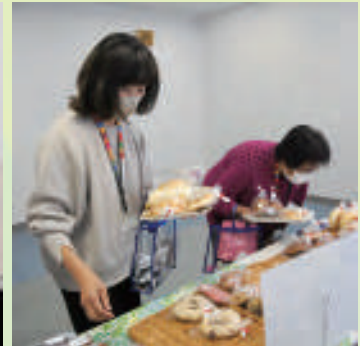
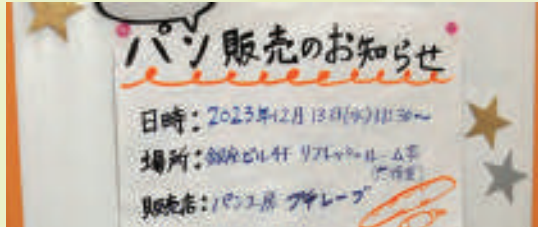


色彩豊かなオリジナル作品

地域との

つながり

NTT 東日本さんとの
貴重な1時間に、感謝！



福祉工場のパン工房プチレーブでは、2か月に1回、銀座にある、NTT 東日本東京南支店で、訪問販売をさせていただいています。

もともと、コロナ禍前、会社のサステナビリティの担当者が、プチレーブに声をかけてくださり、つながったご縁です。コロナ禍で、リモートワークが9割になり社員食堂もなくなり、ビル内での社員間のコミュニケーションも希薄となっていた中、現在、東京南支店企画総務部企画総務担当課長である生永さんが、プチレーブ販売再開の機会を作ってくださいました。その思いの裏には、社員が働きやすい仕事環境にしたい、社員のコミュニケーションの機会にしたい、パンを買える楽しみが在宅から出てくるきっかけになると良い等々、そして障害者就労支援のご経験から、障害者の活躍を応援したい、少しでも社会に貢献したいという生永さんの熱い思いがありました。現在はビル内約300名の社員のうち、3割程度の出社状況だそうで、2か月に1回の販売日を楽しみに、11:30頃からお部屋の前には行列ができ

ていました。当日のスタッフは、企画総務担当を中心に、希望制で集まった社員の皆さまがその場を仕切ってくださいました。知的障害者の理解を進め社会の関心が向くきっかけになればとプチレーブの活躍の場を、心から応援してくださっている社員の皆様の思いが、私たちにひしひしと伝わり、胸が熱くなりました。1時間もしないうちに、あっという間に完売しました。本当に感謝の1時間でした。

NTT 東日本は、全国に拠点を置く通信の会社で、地域の皆さんと一緒に地域の困りごとを解決していきたいという共通認識を持って、地域の役に立てることを進めていらっしゃるということでした。皆様の想いとこのつながりに改めて感謝しています。

誰もが分け隔てなく助け合い、「地域のために役に立てることを」目指す思いは私たちと同じ思いですね！今後もどうぞ、よろしくお願いいたします。

豆知識

現代には様々なシンボルマークがあります。障害者に関するシンボルマークについては、障害のある人に配慮した建物や施設であることを表した、「**障害者のための国際シンボルマーク**」があります。このマークは車椅子の方を表現していますが、限定的なものではなく、すべての障害者を対象としている世界共通のマークです。

また、国際シンボルマークはもうひとつ、「**盲人のための国際シンボルマーク**」があり、信号機で見かけることが多いと思います。運転免許証の条件として付されている場合、車両に表示する、身体障害者標識や聴覚障害者標識がありますが、聴覚障害者標識に関しては表示が義務となっています。やむを得ない場合を除き、これらのマークの車に幅寄せ等を行なうと、道路交通法の規定により罰せられます。他にも障害があることを周りに理解してもらうための「**ハート・プラスマーク**」や「**耳マーク**」があります。ヘルプマークを身につけている方も多くなりました。新生活を迎える方も多い時期ですので、改めて地域にあるシンボルマークを探してみるのもおもしろいかもしれません。



シンボルマークの一部です。

らうんじ



暖かな春の日差しとともに新年度がスタートしました。中延複合施設の前にある桜が咲くと「新年度が始まるよ!」と教えてくれるようで身が引き締まる思いです。

施設前の桜を見る事が毎年の楽しみですが、もう一つ楽しみがあります。それは新しい仲間となる新任職員です。

毎年、中延へ実習にきた学生から、数名が卒業後に当法人へ入職しています。

その学生が卒業式後にその足で卒業の報告に来てくれます。袴姿やスーツ姿での晴れやかな姿を見るのが楽しみで、新年度が待ち遠しくなります。

一年を通して新任職員の様々な姿を見ます。それは決して「嬉しい」「楽しい」姿だけでなく、「不安そうな」「悩んでいる」姿や時には涙を流したり。

それでも一生懸命に努力して最後に見せてくれる笑顔はとても素敵で私に力を与えてくれます。今年度も新しい仲間と共に利用者を主語にしたケアを実践していきます。

中延特別養護老人ホーム 施設長 米原 康之

しなふくの窓



このコーナーは普段は目に留まらないちょっとしたホッと
するものをしなふくの「窓」を通して写真で紹介するコー
ナーです。



ガラス越しのしなふく
運河より撮影

しながわ水辺の観光フェスタ実行委員会から京
浜運河周遊体験にご招待いただき、10月初旬にク
ルーズ船に乗船しました。当日は、秋晴れで風も心
地よく、まさに周遊日和でした。大井競馬場前の棧
橋からお台場辺りを周遊し、運河側から本部施設を
望みました。今まで運河から八潮を見る機会がな
かったので、改めて本部施設を撮影しました。八潮
という立地の良さと本部施設の大きさを感しました。

後援会ご入会のお願い

後援会では利用者の皆様の生活の充実を図る
ために活動しております。皆様からいただいた
会費は、法人本部の花壇や植栽の整備、福祉車
両や会議&シアター設備備品の購入等、法人が
運営する事業等で使用しております。また、後
援会の事業の募金箱の設置もお願いしてありま
す。皆様のご協力をお願いいたします。

会 費：月額一口… **300円**
1年分… **3,600円**

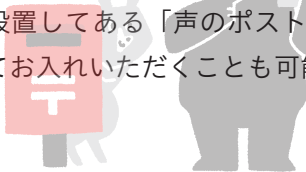
後援会事務局：地域福祉課

☎ **03-3790-4839**

ご意見・ご要望はこちらへ

施設サービスに対するご意見・ご要望はこ
ちらへご連絡ください。

また、品川総合福祉センターの各事業所の
玄関に設置してある「声のポスト」へ、お手
紙にしてお入れいただくことも可能です。



受付時間：土・日・祝・年末年始を除く
月曜～金曜 9時～17時

苦情解決第三者委員会直通電話

☎ **0120-37-4729**

事業所一覧

○高齢者福祉サービス事業

かえで荘 / 品川区立中延特別養護老人ホーム / 品川区立八潮南
特別養護老人ホーム / 品川区立八潮南認知症高齢者グループ
ホームグループホーム八潮南 / 品川区立八潮在宅サービスセン
ター / 品川区立中延在宅サービスセンター / 品川区立大井在宅
サービスセンター / 品川区立八潮在宅介護支援センター / 品川
区立中延在宅介護支援センター / 品川区大井在宅介護支援セン
ター / 品川区大井第二在宅介護支援センター / 品川区立八潮わ
かくさ荘 / 品川区立大井倉田わかか荘 / 大井三丁目高齢者憩
いの場

○障害福祉サービス事業

障害福祉サービス かもめ園 / 障害福祉サービス 福祉工場し
ながわ / 障害福祉サービス さつき / 障害福祉サービス サン
かもめ / 品川区心身障害者福祉会館 品川区障害者地域活動支
援センター 品川区旗の台障害児者相談支援センター 障害者
訓練センター 生活介護事業 / 品川区中延障害者計画相談支援
事業所 / 品川区大井第二障害者計画相談支援事業所 / 品川区八
潮障害者計画相談支援事業 / 鮫洲なぎさの家

○児童福祉サービス事業

八潮中央保育園 / 品川区立八潮北保育園

品川総合福祉センター広報誌 しなふくニュース No.159

2024年4月1日発行

発行人：永田元

編集人：しなふくニュース編集委員会

URL：https://www.shinafuku.com/

発行所：

社会福祉法人品川総合福祉センター

☎ 03-3790-4729

📍 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1